



2022年7月29日

各 位

会社名 岡部株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 河瀬博英
(コード番号 5959 東証プライム)
問合せ先 取締役 専務執行役員
管理部門管掌・国際部門管掌 細道 靖
(TEL. 03-3624-5119)

2022年12月期 通期連結業績予想の修正ならびに
剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期 通期連結業績予想ならびに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 72,500	百万円 5,100	百万円 5,300	百万円 3,450	円 銭 71.94
今回修正予想（B）	75,850	5,200	5,400	3,850	81.25
増 減 額（B－A）	3,350	100	100	400	
増 減 率（％）	4.6	2.0	1.9	11.6	
（参考）前期実績 （2021年12月期通期）	64,829	4,334	4,726	2,627	54.13

(2) 修正等の理由

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの業績の状況を勘案するとともに、建設関連製品事業において、構造機材製品及び仮設・型枠製品の販売が堅調に推移すること、ならびに、米国における建設資材の販売が好調に推移することが下期に予想されることから、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、当初の想定を上回る見通しとなります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、保有資産の効率化及び財務体質の強化を目的として、政策保有株式を売却したことにより、当初の想定を上回る見通しとなります。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月10日公表)	前年同期実績 (2021年12月期)
基準日	2022年6月30日	同左	2021年6月30日
1株当たり配当金	12円00銭	11円00銭	10円00銭
配当金総額	570百万円	—	488百万円
効力発生日	2022年9月5日	—	2021年9月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	11円00銭	11円00銭	22円00銭
今回修正予想		12円00銭	24円00銭
当期実績	12円00銭		
前期実績 (2021年12月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

(3) 修正等の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を充実させるため、配当性向30%以上を目安として、安定的な配当を継続することを基本とし、連結業績を考慮し、併せて企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して剰余金の配当を決定する方針を採用しております。

上記の基本方針のもと、当第2四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、当期の中間配当につきましては、当初予想に対して1円増配の1株当たり12円（前年同期実績に対し2円増配）とさせていただきます。

また、当期の期末配当予想につきましても、通期連結業績予想等を踏まえ、当初予想に対して1円増配の1株当たり12円に修正いたします。この結果、1株当たり年間配当金は24円（前期実績に対し4円増配）となり、配当性向は29.5%になる予定です。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上